

2024 年度 協定校派遣留学生による成果報告 ～2024 年 8 月～2024 年 12 月 シーナカリンウィロート大学 留学～

経済学部国際経済学科 坂本 弥宥 (留学時 3 年次)

(1) 留 学 先：タイ・シーナカリンウィロート大学

(2) 留学期間：2024 年 7 月 29 日～2024 年 12 月 18 日 (約 5 カ月間)

(授業期間：2024 年 8 月 6 日～2024 年 12 月 18 日)

2024 年度第 2 学期

留学の趣旨・目的について

協定校留学は、本学に在学しながら協定校大学の授業を受けることにより、本学における学修活動をより充実させるとともに、現地で集中的に外国語を学修し、さらに当該国・地域の文化、風習、習慣について日常的に触れ理解を深めることにより、より高度な国際感覚を身に着けることを目的とします。

(3) 学習内容：

(履修科目名)

1. Thai language for communication
2. English pronunciation for effective communication
3. English for occupational communication

(4) スケジュール：

月～木曜(授業のある日)

7:00	起床
8:00	出発
9:00～12:00	授業
12:00～13:30	ランチ
13:30～16:30	授業
16:30～18:30	友人と会話 or 作業
18:30～19:30	夕飯
20:00～21:00	帰宅
21:00～0:00	課題
0:00	就寝

金～日曜

9:00～10:00	起床
～13:00	作業
～22:00	自由時間 (友達との外出、買い物など)
22:00～0:00	作業
0:00	就寝

授業がある日: 午後に授業がある日は、午前中に洗濯などの家事をしてから大学に向かっていました。午前中にマーケットが開いている日は、早めに大学に行き甘い飲み物と一緒に自主学習に取り組んでから、授業に参加していました。授業が終わると、友人たちとご飯を食べに行くこともありました。家に帰宅するのが早い日は、宿舎に備わっていたジムで軽く運動をしたり、リフレッシュしていました。授業がない日も、大学の雰囲気がとても好きだったので大学に行き自主学習に取り組むことが多かったです。日本語学科の学生にタイ語を教えてもらっていました。休みの日は、友人とショッピングモールに行ったり、ローカルなタイ料理屋に行き、休みを満喫していました。

(5) 留学費用： 支出費用総額約 600,000 円

内訳： 宿舍費 40,500 円／月、食費 36,000 円／月、交通費 3,500 円／月、旅行社代行料 (航空券込み) : 150,000 円

【留学の動機】

大学2年次に2週間のベトナム研修に参加した際に、文化も母語も異なる人が共通の言語で交流し、友好関係を築くことができる国際交流の楽しさに惹かれました。2週間という期間があつという間で、もう少し長く海外に身を置き、現地の学生とより深い交流をしたいという思いから留学したいと考えました。英語圏への留学は前例が多く何となくイメージが付きましたが、アジアへの留学を考えた際、前例が少なく未知の世界が広がっていてワクワクしたこと、第二外国語の取得のチャンスもあったことから、非英語圏の留学を決めました。中でも、タイは今まで訪れたことがない国の一つであり、これまでにない学びや経験が得られるのではないかと期待していました。また、親日国で国民の人柄も良いと聞いていたので、タイに決めました。

【留学の内容】学校・現地学生・宿舎の雰囲気、学習の進め方など

シーナカリンウィロート大学は、バンコクの中でも中心部に位置していて、広々とした開放的な大学であることが特徴です。週に3回開かれるマーケットは、一般の方も訪れることから、非常に賑わっていました。日本では見ることのできない光景でとても新鮮でした。学習面に関して、現地の学生は1人1台iPadを持ち、学習に取り組んでいました。授業も1コマ3時間と、非常に長く開講される科目が多くありましたが、毎回の授業が充実していて、あつという間でした。学生はもちろん、先生方も教育への意識が非常に高く、学生のことを一番に考え、寄り添った指導を行っているのが印象的でした。



宿舎（アパート）は、現地に到着してから自分の目で見て決定しました。タイは、基本的に家具付きの物件であることが多く、契約してからすぐに生活を始めることができ助かりました。また、オーナーさんが英語での対応をしてくださったので、何か困ったことがあればすぐに解決していただけました。24時間待機している警備員さんも優しい方ばかりで、安心して生活することができました。

【研修成果】

英語はもちろん、第二外国語としてタイ語も学習し、語学力を向上させることができました。協定校留学の申請時に、私は「人との交流を通して語学学習に取り組む」という学習計画を立てました。まず、「人と交流する」という目標を達成するために、初めての授業で隣の席の学生に積極的に声をかけ、コミュニケーションを図りました。私が参加した授業では、留学生が私一人という状況が多く、完全にアウェイな環境ではありましたが、日本に興味を持っている学生も多かったため、すぐに打ち解けることができました。結果として、参加したすべての授業で友人を作り、グループワークなどの交流を通じて、生きた英語を学ぶことができました。授業外でも友人と過ごす時間は多く、タイの観光名所や若者に人気の場所、有名な食べ物を紹介してもらった機会も多々ありました。このような経験が、英語でのコミュニケーション能力向上に大いに役立ちました。

また、新たにタイ語の学習にも取り組みました。留学生向けのタイ語の授業を履修したことがきっかけです。第二外国語を学ぶ楽しさを実感し、授業外でも日本語学科の学生と言語交換をしながら学習を進め、最終的にはご飯を注文する際、タイ語でお店の人と会話ができるようになりました。さらに、留学生活を通して、異なる言語や文化を持つ人々との交流を深め、友好関係を築くことができました。普段話している言語や文化背景が異なるにもかかわらず、お互いを助け合い、共に成長できる関係を構築できたことは、私にとって大きな学びとなりました。特に印象に残っているのは、日本への留学を控える日本語学科の学生に寄り添い、申請書類の添削などのサポートをした経験です。語学力の向上だけでなく、人生において大切な友人を得られたことが、私にとって最大の成果だと感じています。

【身についた力】(語学力等の学修成果以外に学んだこと)

柔軟性や順応性が身につきました。毎日が初めてで溢れる世界に飛び込んだことで、今までの当たり前が当たり前ではないことに気付き、国が違えばこんなにも慣習や文化や国民性が違うんだと受け入れ、違いを楽しむことができるようになりました。

【滞在先について】

滞在形式:アパート

管理人さん、警備員さんの対応が非常に良かったです。また、位置的にも大学から程よく近く、暮らすのに不便に感じることはありませんでした。

【将来の展望】帰国後に描いている展望(進路希望や、将来の夢等)

今回の留学で、本学職員の様々な部署の方々をはじめ、家族友人、留学先の教職員の方々など、非常に多くの方にサポートしていただきました。「人の挑戦を支援する」ことに強く魅力を感じたため、そのような業務に携われるよう就職活動に励みたいと考えています。また、留学先で第二外国語であるタイ語を学ぶ楽しさを強く感じたため、英語のみならず様々な語学の学習に取り組み続けたいと考えています。

【海外生活中に困ったこと・悩んだことと、それらの解決方法について】

タイに到着直後、体調を崩したことです。環境にも慣れておらず、友人も少なく頼れる人が少ない中、一人で病院に行き入院をしました。日本にいる母に相談し、保険適用かつ日本語でのサポート体制が整っている病院を調べてもらい、治療を受けました。留学生のオリエンテーションや初回の授業を休むことになり、うまくスタートダッシュがきれいなことに焦りを感じたこともありましたが、こんなスタートを経験できるのもなかなかない！と前向きに捉えました。留学先の日本語学科の先生に相談したところ、日本語学科の学生4人がお見舞いに来てくれたことが非常に心強かったです。

【留学を考えている人へのメッセージ】

留学をすることがすでに選択肢にあるのであれば、絶対に留学をしてほしいです。慣れない環境に身を置くこと、家族も友人もない環境に飛び込むことに対し、漠然とした不安を抱くかと思います。実際に私もそうでした。ですが、留学をする前に深く考えすぎてしまうと行動に移すことが難しくなると思うので、留学をしたいと考えた時の自分を信じて、決断してしまう方が良いと思います。留学に行くかどうかで長時間悩むよりかは、早いうちに決断をして(それが一番難しいかと思いますが)、留学までの準備時間に時間を費やす方が良い結果が生まれると思います。異文化や様々な背景を持つ人に関わり、新たな自分を知ることができる素晴らしい機会が待っています。

